

堤防の質的整備の推進（急流河川対策）

きゅうりゅうか せんたいさく

てどり
手取水系手取川（石川県能美市）

1. 事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国有数の急流河川です。

急流河川という特性から、洪水時の川の流力は非常に大きなエネルギーを持っており、これまでも幾度となく堤防が破堤し、大きな被害をもたらしてきました。

このため、急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため、既設堤防を拡幅するとともに法勾配の緩やかな堤防の整備を実施します。

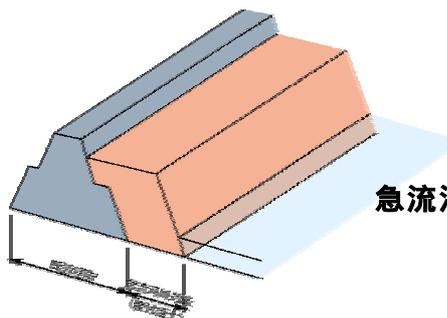
2. 事業の経緯

堤防の質的整備については、平成16年度より事業に着手しました。

3. 平成17年度の実施内容

平成17年度は、洪水時の局所的な洗掘・侵食から堤防を保護するため、能美市

山田地区において、急流河川対策（腹付け盛土）を推進します。



平成15年10月撮影

急流河川対策(イメージ)